

令和7年度

京都市立大原野小学校 第2回学校アンケート結果

学校教育目標を「自ら学び、未来を創造する子の育成～自分らしい生き方を探究する児童」とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を柱に、全ての教育活動を行っています。

1. 確かな学力

項目⑦の「授業のわかりやすさ」については、児童の90%がプラス評価をしています。

一方で、あまりそう思わない、そう思わないと回答している児童が1回目よりも増えていることは看過できません。子ども達が日々の授業で、「わかった」「できた」という達成感をもてるように手立てや工夫を考え、教職員一同授業力を高め合っていきたいと思います。

- ・学習の導入を工夫し、一人一人が「やってみたい」「どうして?」「自ら解決したい」と思えるよう授業をコーディネートしている。
- ・「つながり」を大切に、ペア学習やグループ学習、具体物を使った操作活動を多く取り入れ、児童同士で交流し合う時間を設けている。
- ・1人に1台のGIGA端末(iPad)を活用し、授業や個々の学習に効果的に活用している。
- ・教科担任制や専科授業、少人数による授業を積極的に取り入れ、多角的な視点で子ども達に指導している。

2. 豊かな心

項目⑥の「友達を大切にする」では、児童・保護者ともに97%がプラス評価をしています。

大原野小学校の子ども達は、地域の方、保護者の方にいつも温かく見守られています。その大きな愛に包まれ、子ども達一人一人が、安心して学校に通うことができ、自分も友達も大切にしようという心情が育まれているのだと思います。引き続き、「世界一居心地の良い大原野小学校」を目指していきたいです。

- ・毎月第3木曜日を「つながりの日」と設定し、人権に関わるテーマを決め、学年に応じた内容の学習を行ってきた。
- ・月に1度程度、「つながりタイム」として縦割りで楽しく遊ぶ活動をしてきた。今年度は、PTA主催のつながりウォークラリーが実施され、子ども達は活き活きと他の学年と交流し合うことができた。
- ・友達の良いところを見つけ合い、交流し合う「キラキラタイム」を行事の後など、年に4度程行い、学級ごとにまとめて本館1階の「きらきらロード」に掲示し、交流している。

3. 健やかな体

項目③④の「望ましい生活習慣」については、1回目に比べ、プラス評価が減っています。引き続き、規則正しい生活習慣を維持することの大切さを児童に指導し、保護者に伝えていきたいと思います。

- ・長期休業明けに「自分の生活を見直そう週間」を設定し、規則正しい生活習慣の大切さを伝えている。
- ・養護教諭と栄養教諭が中心となり、担任や保護者と連携しながら「健康教室」を実施している。
- ・機会あるごとに、規則正しい生活習慣を維持することの大切さを児童に指導し、保護者に伝えている。

4. その他(学校運営協議会でいただいたご意見)

- ・わが子もスマホを見ている時間が多くあり、生活が不規則になってしまうときがある。ネット社会の今、大人の方でブロック機能や制限機能を用いて子ども達が安全に使えるようにする責任もあるのではないかと。また、子ども達にもネット社会に潜んでいる罠や犯罪等を知る機会を設けてほしいと思った。
- ・大原野の子達は外で遊ぶ姿がたくさん見られ、先生方も一緒に遊んでくださるところがとても嬉しく思っている。GIGA端末導入で良い面もあるが、一方で使い方が難しいとも思う。SNSなど、自分が知らないところでプライバシーが公開されているおそれがあることも知って、指導していく必要がある。
- ・PTAウォークラリーでのたてわり活動の様子を見て、子ども達がすごく楽しそうにしているのが印象的だった。6年生が下級生にかけ言葉もやさしく、自分で考えて関わっていてとても素敵だった。
- ・高齢化が進んでいく中、新しい方が放課後まなび教室のスタッフとして入ってくださることは大変嬉しい。まなび教室で、自主勉強に取り組む様子が見られ、自分でテーマを決めて調べ学習をしている姿から、「宿題を自分で考えて進める」というのはこういうことなんだなと感じた。
- ・2月の参観授業を見て、子ども達の成長ぶりが見られ、先生方の日々のご指導の賜物だと感じた。たくさんの方が参観に来てくださっていたので、授業の様子がよく見えるように廊下側の窓を開けてみてはどうか、と思った。
- ・あいさつじゃんけんの取組で、校長先生とじゃんけんするのを楽しみに、朝登校する様子が見られ、とても良い取組だなと感じた。
- ・認知症サポーター養成講座は、毎年高学年で行ってきたが、中学年で実施するのも良いのかなと思った。
- ・ようこそアーティストの授業のように、プロの方から学ぶ機会があることは大変素晴らしい体験になると思った。
- ・PTAウォークラリーでモルックコーナーを作ってもらい、子ども達にモルックの楽しさを知ってもらう機会になった。今後も、スポーツを通じて子ども達とつながる機会をつくっていききたい。
- ・今年、西京区誕生50周年を迎える。大原野小学校でも引き続き、田植えや稲刈り体験を通して、地域、保護者、先生、子どもとつながっていききたいと思う。どんどん参加してもらえると嬉しい。また、今後、自転車運転で青切符というものが発行されることになる。113項目の罰則があるということらしい。小学校のときから、自転車教室を通して、安全に運転することの大切さを引き続き指導してほしい。

※大変貴重なご意見ありがとうございました。大原野教育発展のために、教職員一丸となって教育に携わっていきたいと思います。